学校番号	３０２４

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「現代高等保健体育」　（大修館書店）						
副教材等	アクティブスポーツ２０１８総合版　（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目を学習することを通じて、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能や体力を高めるとともにリーダーシップとフォロワーシップの精神を養う。
・自分や他人の運動をよく観察、分析することで興味、関心を高め、運動の楽しさや喜びとともに達成感を体感しよう。
・体育授業を通して、「運動をする・見る・支える・調べる」といった関わりを学び、生涯に向けた自分に合ったスポーツライフを考えてみよう。

2　学習の到達目標

・１・２年次での各種目の基礎技術をふまえて、３年次からは、男女共修で、自分たちで計画立案しながら、運動の楽しさ・喜びを体験し、公正・協力・責任などの態度を育て、自主的に計画、運営できる能力を養う。
・自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察 グループノート レポート 等	グループノート レポート 等	技能観察 グループノート レポート　等	グループノート レポート 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期～3学期	体つくり運動	オリエンテーション ラジオ体操 体ほぐしの運動 新体力テスト	○	○		○	a:体つくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう体力の違いに配慮しようとすることや自己の責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。 b:ねらいに応じて健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てるとともに、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 d:運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。	受講態度の観察
	選択種目Ⅰ～Ⅲ	選択制体育 ・バレーボール ・バスケットボール ・ハンドボール ・ソフトボール ・サッカー ・テニス ・卓球 ・バドミントン ・ゴルフ	○	○	○	○	a:各種目特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わうことができるよう協力して取り組もうとするとともに種目のルールを守り、公正な態度をとろうとする。また、水泳の事故防止に関する心得を守り、健康や安全を確保して練習や競技に取り組もうとする。 b: 生涯にわたり各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:各種目の特性に応じた、各種目、演技特有の技能を身につける。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。生涯にわたって生活を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c: d:技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 グループノート レポート 技能観察

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断 c:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。